

# VS1814T/VS1818T

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、VS1814T/VS1818T 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2015 年 12 月 17 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける評価機貸出サービスが無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「ご購入前のお問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
FCC インフォメーション .....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006 .....	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般 .....	5
ラックマウント .....	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要 .....	11
特長 .....	12
システム要件.....	13
ソースデバイス.....	13
レシーバー.....	13
ケーブル .....	13
製品各部名称 .....	14
フロントパネル .....	14
リアパネル.....	15
第2章 セットアップ方法.....	17
ラックへの取り付け.....	17
製品の接地.....	19
セットアップ方法.....	20
第3章 基本操作.....	21
概要 .....	21
EDID 学習ボタン .....	21
EDID モード選択.....	22
RS-232 コントローラーのセットアップ .....	22

第4章 RS-232 コマンド .....	23
概要 .....	23
RS-232 シリアルインターフェース .....	23
シリアルポートの設定 .....	23
ポート切替コマンド .....	24
CEC コマンド .....	26
読込コマンド .....	27
ボーレートの設定コマンド .....	28
リセットコマンド .....	29
肯定応答 .....	29
付録 .....	30
製品仕様 .....	30



## FCC インフォメーション

---

### 警告:

本製品は FCC Class A 装置です。一般家庭でご使用になると、電波干渉を起こすことがあります。その際には、ユーザーご自身で適切な処置を行ってください。

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**CE による注意:**本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

# SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 本製品は屋内でのみご使用ください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせ適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロットなどに押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。

- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

VS1814T/VS1818T 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

◆ HDMI 4/8 分配送信器(4K 対応)	×1
◆ 電源ケーブル	×1
◆ ラックマウントキット	×1
◆ 多言語版クイックスタートガイド	×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

---

\* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

---

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、VS1814T/VS1818T に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:** VS1814T/VS1818T を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。
- 第2章 セットアップ:** VS1814T/VS1818T のハードウェアセットアップに必要な手順について説明します。
- 第3章 基本操作:** VS1814T/VS1818T の基本的な機能概要および操作方法について説明します。
- 第4章 RS-232 コマンド:** VS1814T/VS1818T の RS-232 シリアルインターフェースを使用した操作方法について説明します。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

[ ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。



# 第1章 はじめに

## 概要

---

ATEN の HDMI 4/8 分配送信器(4K 対応) VS1814T/V S1818T は、1 台の入力ソースからのデジタル HD ビデオを 100m 離れた場所にある 4/8 台のディスプレイまで延長送信し、ディスプレイへの出力切替操作を、早く簡単に行うことができます。VS1814T/V S1818T は、レシーバーとの接続に HDBaseT 延長テクノロジーを搭載しているため、カテゴリ 5e ケーブル 1 本で HDMI マルチメディアコンテンツをリアルタイムで送信できます。

VS1814T は 4 台まで、VS1818T は 8 台までの HDMI レシーバー(例:VE812R)を接続できます。本製品のリアパネルには RS-232 シリアルポートが搭載されているので、ハイエンドコントローラーや PC を使用して、本製品を操作することができます。

VS1814T/V S1818T は、4K HDTV 解像度および 1,920×1,200 PC 解像度に対応しています。また、EDID 選択モード機能を搭載しているため、ビデオ解像度を効率よく最適化し、HDMI ソースデバイスに一定で信頼性のある EDID データを提供できます。

VS1814T/V S1818T HDMI 延長分配器は、HDCP 準拠で、ほとんどの ATEN 製品(切替器、マトリックススイッチャー、コンバーター等)と互換性があります。また、DVD プレーヤー、サテライトセットトップボックスやほとんどの HDMI ディスプレイといった HDMI 対応デバイスに対応しているため、放送業界、デジタルサイネージや教育関連での使用に最適なソリューションです。

## 特長

---

- ◆ 1 系統の HDMI ビデオ信号をツイストペアケーブルで 4/8 系統に延長分配
- ◆ ローカルユニットにも HDMI 出力ポートを 1 ポート搭載し、リモート画面のモニタリングも可能
- ◆ ディ스플레이を最大 100m 延長設置可能
- ◆ アンチジャミング - HDBaseT 技術を使用して、高品質ビデオ送信の際の電波干渉を低減
- ◆ ツイストペアケーブル 1 本で長距離伝送可能な HDBaseT(Class A) 準拠
- ◆ HDMI(3D、Deep Color、4K<sup>※1</sup>)、HDCP 1.4 準拠
- ◆ Dolby True HD および DTS HD Master Audio 対応
- ◆ CEC(Consumer Electronics Control)対応
- ◆ RS-232 経由で本体の制御が可能<sup>※2</sup>
- ◆ 解像度(延長距離) - カテゴリ 6a/7 ケーブル使用時は最大 4K<sup>※1</sup>(100m)、1080p(100m)、  
カテゴリ 5e/6 ケーブル使用時は最大 4K<sup>※1</sup>(70m)、1080p(100m)
- ◆ 最大バンド幅 - 340MHz
- ◆ EDID モード選択機能搭載
- ◆ ラックマウント対応

- 
- 注意**
1. 対応する 4K 解像度は、3,840×2,160@30Hz(4:4:4)、3,840×2,160@60Hz(4:2:0)、  
4,096×2,160@30Hz(4:4:4)、4,096×2,160@60Hz(4:2:0)です。
  2. RS-232 は VS1814T/VS1818T 本体の制御のみとなります。VS1814T/VS1818T の  
アプリケーション操作マニュアルは、弊社の Web サイトからダウンロード可能です  
([www.aten.com/jp/ja](http://www.aten.com/jp/ja))
  3. STP ケーブルのご使用を推奨します。
  4. ソースデバイスとの接続用 HDMI ケーブルは同梱されていませんので、型番  
2L-7D02H-1 を別途ご購入ください。
-

## システム要件

---

VS1814T/VS1818T をセットアップするには、下記のハードウェア環境が必要です。

### ソースデバイス

HDMI コンテンツのソースデバイスには、下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ HDMI 出力コネクタ

### レシーバー

- ◆ ローカルディスプレイ - HDMI 入力コネクタ
- ◆ HDMI レシーバー (例: VE812R) - セットアップする出力ポートそれぞれに RJ-45 ポート

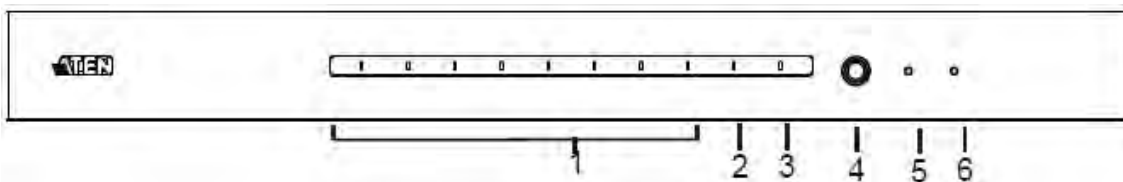
### ケーブル

- ◆ ソースデバイスおよびローカルディスプレイデバイス - 標準 HDMI ケーブル
- ◆ HDMI レシーバー - カテゴリ 5e/6/6a/7 ケーブル(STP ケーブルのご使用を推奨します。)

- 
- 注意:**
1. 本製品にケーブルは同梱されていません。オーディオとビデオの品質に影響するため、適切な長さの高品質ケーブルをご使用されることを強く推奨いたします。販売店に適切なケーブルの組み合わせをお問い合わせください。
  2. DVI ソースデバイスまたは DVI ディスプレイを接続する場合は、DVI - HDMI 変換アダプターが必要になります。但し、その場合、オーディオは非対応になります。
  3. VS1814T/VS1818T のハイエンドシリアルコントローラー機能をご利用になる場合、適切な RS-232 ケーブルを別途ご購入ください。詳細は、p.22「RS-232 コントローラーのセットアップ」を参照してください。
-

## 製品各部名称

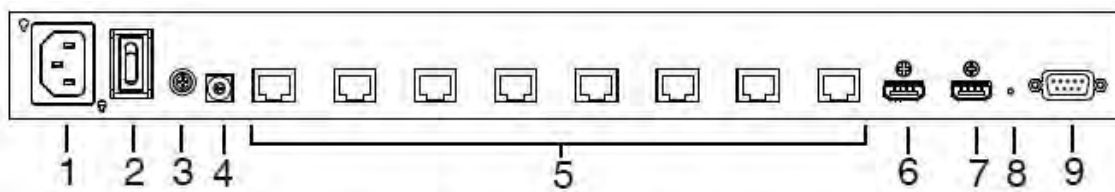
### フロントパネル



No.	名称	説明
1	HDBaseT 出力ポート LED (1~4 または 1~8)	この LED が点灯している場合は、このポートに接続された HDMI レシーバーデバイスへの接続が動作中であることを表します。
2	HDMI 出力 LED	この LED が点灯している場合は、ローカルディスプレイデバイスへの接続が動作中であることを表します。
3	HDMI 入力 LED	この LED が点灯している場合は、ソースデバイス(例:コンピューター)への接続が動作中であることを表します。
4	EDID 学習ボタン	動作中のディスプレイの EDID を記録するには、このボタンを長押ししてください。このボタンを使用するときは、p.22「EDID モード選択」の「3(学習)」にしてから、VS1814T/VS1818T 本体の電源を再起動する必要があります。
5	EDID 学習 LED	この LED がグリーンに点滅している場合は、EDID 学習モードが実行中であることを表します (p.21「EDID 学習ボタン」参照)。グリーンに点灯している場合は、EDID 学習モードで EDID の保存が成功したことを表します。レッドに点灯している場合は、EDID 学習モードで EDID が保存できなかったことを表します。
6	電源 LED	この LED がグリーンに点灯している場合は、本製品に電源が入り、動作可能であることを表します。

**注意:** 本ページは VS1818T のフロントパネルを表示しています。VS1814T のフロントパネルは、HDBaseT 出力ポート LED の数が、VS1818T は 8 つであるのに対し、VS1814T は 4 つであること以外は、VS1818T と同じです。

## リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	これは標準的な 3 ピン AC 電源ソケットです。電源コンセントに接続した電源コードはここに接続してください。
2	電源スイッチ	本製品の電源 ON/OFF を行うロッカースイッチです。
3	接地ターミナル	接地線はここに接続してください。詳細は、p.19「製品の接地」を参照してください。
4	EDID モードスイッチ	本製品に保存された EDID 設定を切り替えるには、このダイヤルを精密ドライバー（マイナス・2mm）などで回してください（p.22「EDID モード選択」参照）。
5	HDBaseT 出力ポート (1~4 または 1~8)	HDMI レシーバーユニットを接続するカテゴリ 5e/6/6a/7 ケーブルはここに接続してください。
6	HDMI 入力ポート	HDMI ソースデバイスからのケーブルはここに接続してください。
7	HDMI 出力ポート	HDMI ディスプレイデバイスからのケーブルはここに接続してください。 <b>注意:</b> このポートはツイストペアケーブルでレシーバーと直結してください。光メディアコンバーターやネットワーク用スイッチングハブ等を仲介させてご利用いただけません。また、RJ-45 用中継ジョイントコネクタを使用すると、信号減衰の原因となり、動作不具合が起こることから、利用しないようご注意ください。
8	ファームウェアアップグレードボタン	このボタンは、ファームウェアアップグレードモードを有効にする際に使用します。 <b>注意:</b> 本製品のファームウェアアップグレード方法の詳細については、販売代理店までお問い合わせください。

(表は次ページに続きます。)

No.	名称	説明
9	RS-232 シリアルポート	このシリアルリモートポートは、ファームウェアのアップグレードや出力ソースの選択およびハイエンドシステムコントロールに使用します。このポートは、VS1814T/VS1818T 本体の設定のみを行うもので、レシーバー経由でシリアル制御を行うことはできません。

**注意:** 本ページは VS1818T のリアパネルを表示しています。VS1814T のリアパネルは、HDBaseT 出力ポート数が、VS1818T は 8 ポートであるのに対し、VS1814T は 4 ポートであること以外は、VS1818T と同じです。

## 第2章 セットアップ方法

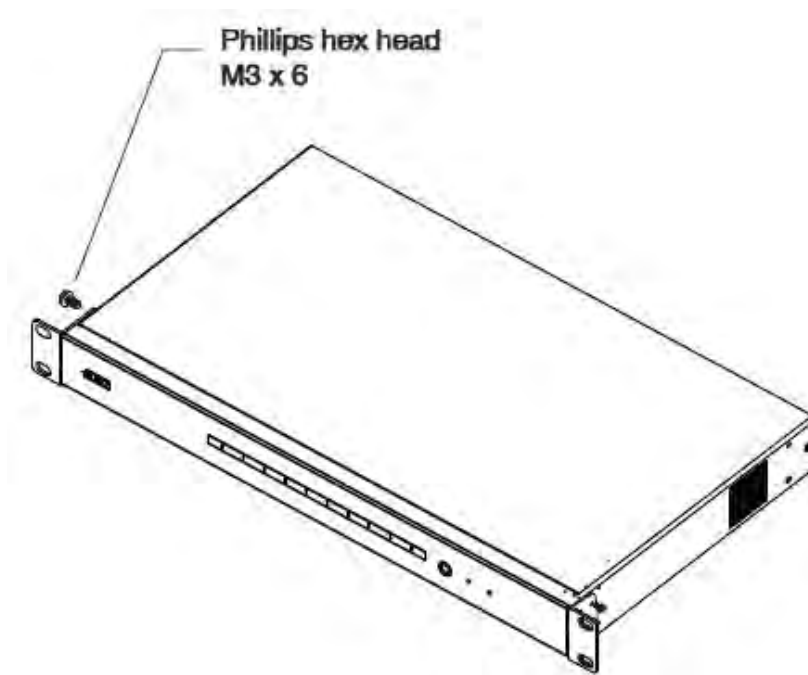


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。
3. 今から接続する装置全てに適切な接地が行われていることを確認してください。

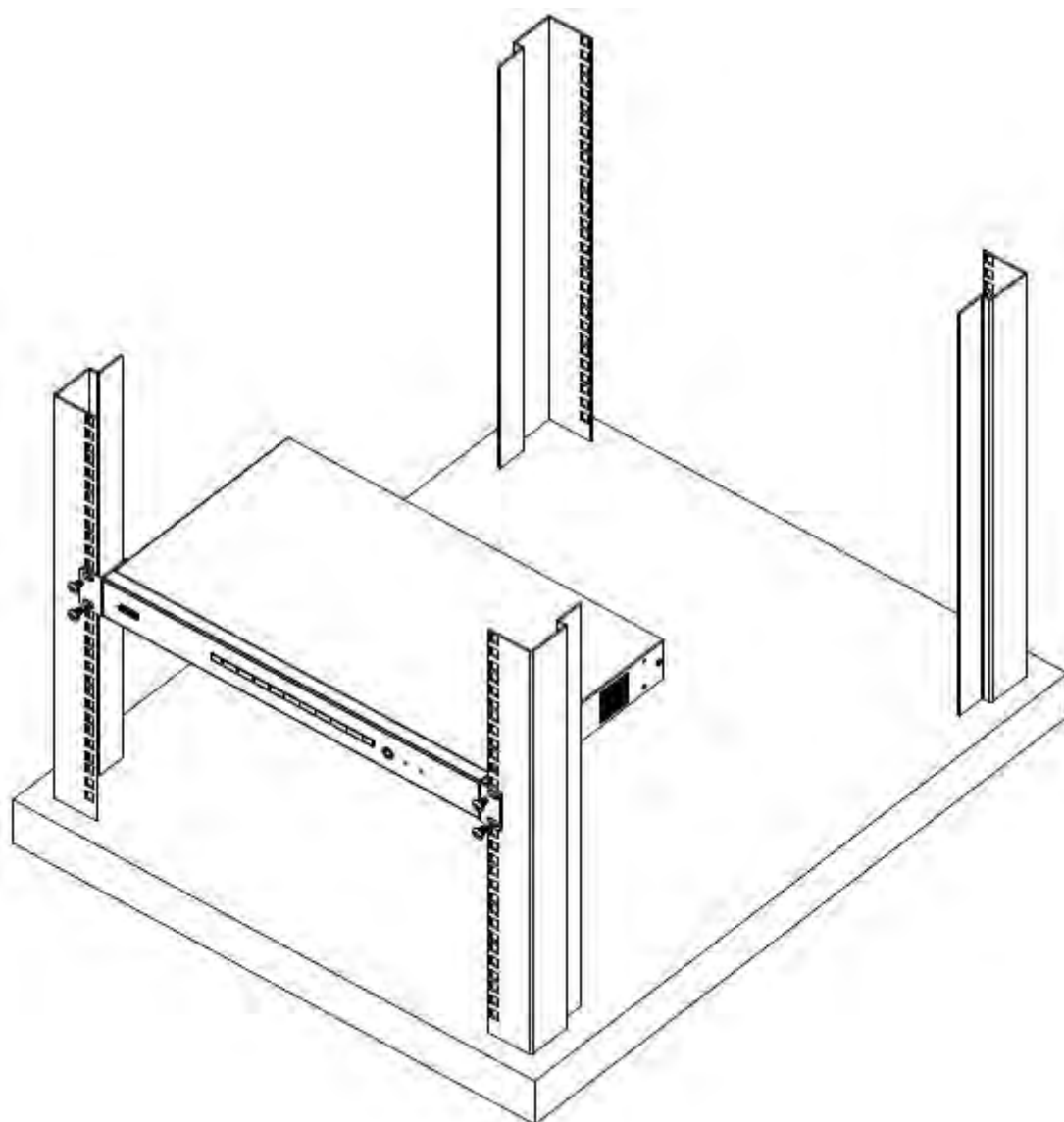
### ラックへの取り付け

便利で柔軟性を持たせるために、VS1814T/VS1818T はシステムラックに取り付けることができます。本製品をラックへ取り付けるには、下記の手順に従ってください。

1. ラックマウントキットに同梱されているネジを使用して、下図のように本製品の両側にマウント用の金具をネジ止めしてください。



2. 手順 1 で取り付けした金具をラックの適当な場所にネジ止めしてください。



---

**注意:** ラックマウントキットにはネジやケージナットは同梱されていません。追加でネジやケージナットが必要な場合は、ラック販売店にお問い合わせください。

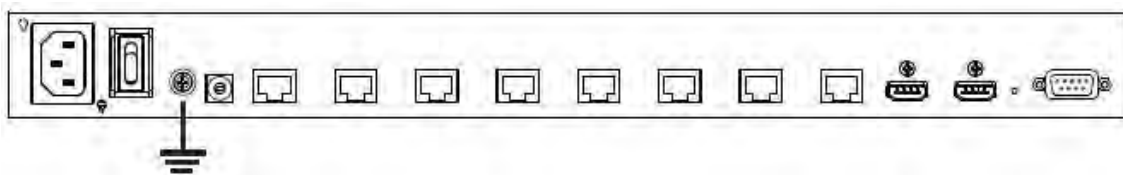
---



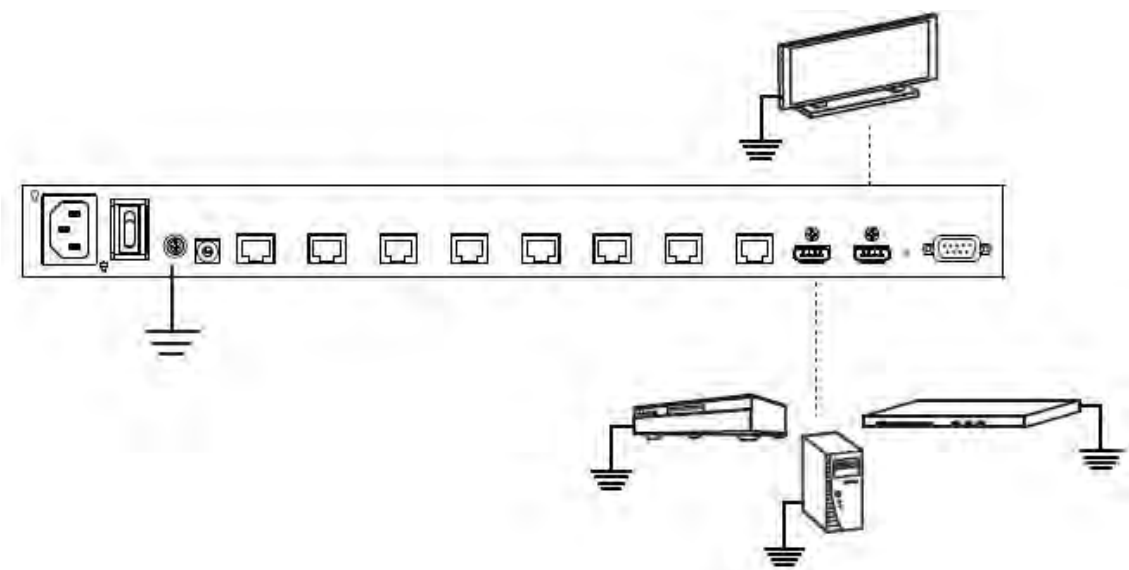
## 製品の接地

ご使用の機器への破損を防ぐために、ご使用する機器すべてに適切な接地をしてください。

1. VS1814T/VS1818T を接地するには、接地線を使用して、接地線の一端を製品のグラウンドターミナルに、もう一端を適切な接地物にそれぞれ接続してください。



2. VS1814T/VS1818T に接続されているデバイス全てにもそれぞれ正しく接地していることを確認してください。



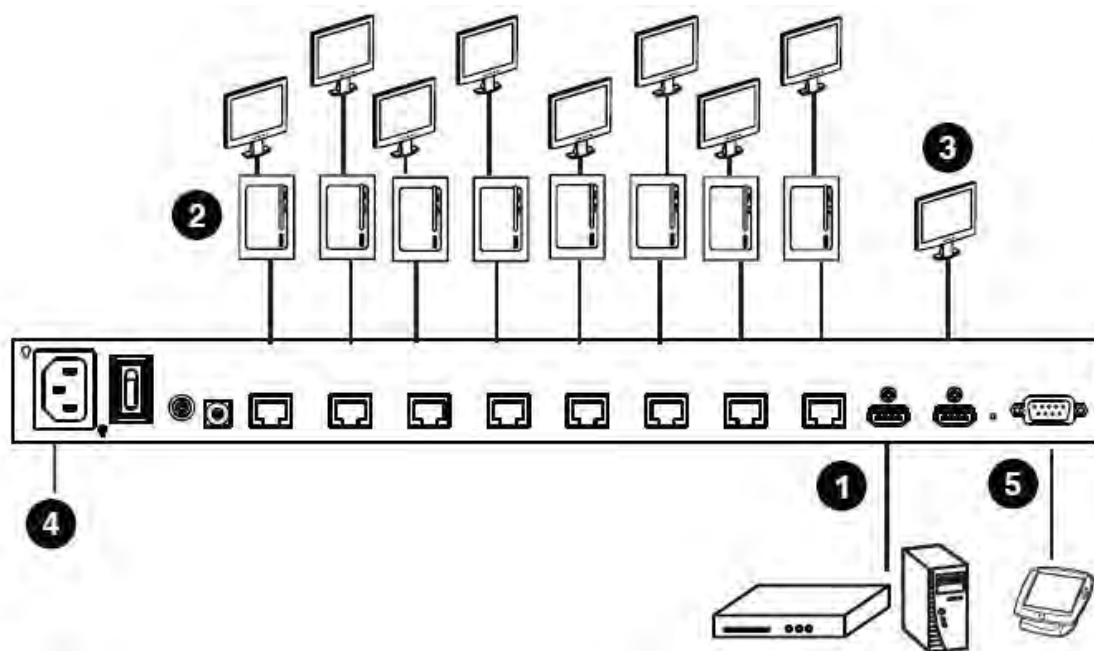
## セットアップ方法

本製品をセットアップするには、下記の接続図(図中の番号は手順番号に対応)を参考にしながら、以下の手順に従って作業を行ってください。

1. HDMI タイプ A(オス - オス)ケーブルを使用して、コンピューターまたは HDMI ソースデバイスを VS1814T/VS1818T の **HDMI 入力**ポートに接続してください。
2. カテゴリ 5e/6/6a/7 ケーブルを VS1814T は最大 4 本、VS1818T は最大 8 本使用して、それぞれ 4 台または 8 台までの HDMI レシーバーユニット(例:VE812R)を **HDBaseT 出力**ポートに接続してください。

**注意:** HDMI レシーバーユニットの HDMI 出力ポートは、HDMI ケーブルを使用して、ディスプレイデバイスの HDMI 入力ポートに接続してください。詳細は、ご使用のレシーバーユニットの説明書を参照してください。

3. (オプション)HDMI タイプ A(オス - オス)ケーブルを使用して、ローカル HDMI ディスプレイデバイスを VS1814T/VS1818T の **HDMI 出力**ポートに接続してください。
4. 本製品に同梱の電源コードを AC 電源に接続してから、本製品の電源ジャックに接続してください。
5. (オプション)VS1814T/VS1818T の本体設定を変更するには、RS-232 ポートにハードウェア/ソフトウェアコントローラーを接続してください。



# 第3章 基本操作

## 概要

---

VS1814T/VS1818T には、フロントおよびリアパネルにあるボタンを使用した簡単かつフレキシブルな EDID 学習機能および EDID モード選択機能を搭載しています。

## EDID 学習ボタン

---

VS1814T/VS1818T はフロントパネルにある EDID 学習ボタンを押すことによって、ディスプレイの EDID を自動的に記録させることができます。その手順は下記の方法に従ってください。

1. 電源 OFF の状態で、本体背面の EDID モードのスイッチを「3(学習)」にダイヤルを合わせてから本体の電源を ON にしてください。詳細は p.22 を参照してください。
2. ご使用になるディスプレイ/モニターを VS1814T/VS1818T の **HDMI 出力**ポートに接続してください(p.20「セットアップ方法」参照)。
3. ビデオディスプレイ/モニターの EDID 設定を保存するには、**EDID 学習**ボタンを押してから指を離してください。
4. EDID 設定の保存中は EDID 学習 LED が点滅し、記録が完了すると LED がグリーンに点灯します。

---

**注意:** EDID 学習 LED が赤色に点灯している場合は、EDID 設定が保存できなかったことを表します。

---

## EDID モード選択

---

VS1814T/VS1818T は、リアパネルにある EDID モードスイッチを使用して、簡単かつフレキシブルに EDID モードが選択できます。

EDIDとはディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットのことで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。

EDID プリセット設定値とそれ以外の EDID 設定値(0~7、下記参照)を切り替えるには、**EDID モードボタン**を押すだけです。

- ◆ **0(プリセット設定値)** - EDID は、ATEN のプリセット EDID 設定値に設定されます。
- ◆ **1(ポート1)** - ポート1に接続されたディスプレイの EDID を実行し、それをビデオソースに送信します。
- ◆ **2(オート)** - 接続ディスプレイ全ての EDID を実行します。VS1814T/VS1818T は全てのディスプレイに対し、最適な解像度を適用します。
- ◆ **3(学習)** - EDID 学習機能によって取得した EDID 設定を使用します。
- ◆ **4~7** - 予備。

## RS-232 コントローラーのセットアップ

---

RS-232 シリアルインターフェースを使用して、(PC のような)ハイエンドコントローラーを VS1814T/VS1818T に接続するには、モデムケーブルのようなシリアルケーブルを使用してください。

VS1814T/VS1818T に接続する側のコネクタは D-sub 9 ピンオスコネクタを使用してください。このコネクタを VS1814T/VS1818T のリアパネルにあるシリアルポートに接続してください。

詳細は、p.23「第4章 RS-232 コマンド」を参照してください。

# 第4章

## RS-232 コマンド

### 概要

VS1814T/VS1818T に搭載の RS-232 シリアルインターフェースを使用して、(PC 等の)ハイエンドコントローラーを接続するには、シリアルケーブルをご使用ください(VS1814T/VS1818T は DCE:コネクタはメスとなります)。VS1814T/VS1818T 側に接続するケーブルのコネクタは D-sub 9ピンオスをご使用ください。このコネクタをVS1814T/VS1818Tのリアパネルにあるシリアルポートに接続します。接続方法の詳細は、p.20「セットアップ方法」の 5 番を参照してください。

**注意:** コントローラーのシリアルポート設定方法については、下記を参照してください。ピンアサインは、p.30「製品仕様」をご確認ください。

### RS-232 シリアルインターフェース

VS1814T/VS1818T には、ハイエンドコントローラー、PC やホームオートメーション/ホームシアターソフトウェアパッケージを通じてシステムが操作できるようにするための双方向通信の RS-232 シリアルインターフェースを搭載しています。

### シリアルポートの設定

コントローラーのシリアルポートは下表のように設定してください。

ボーレート	19200
データビット	8ビット
パリティ	None
ストップビット	1ビット
フロー制御	None

## ポート切替コマンド

ポート切替コマンドの構文は、下記の通りです。

**切替コマンド+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]**

1. 例えば、出力ポート 02 への HDMI 出力を ON に切り替えるには、下記を入力します。

**sw o02 on [Enter]**

2. 全ての出力ポートへの HDMI 出力を OFF に切り替えるには、下記を入力します。

**sw o\* off**

本製品の切替コマンドで使用できる値は下表の通りです。

コマンド	説明
sw	切替コマンド。

出力コマンド	説明
o	出力コマンド。

出力ポート番号	説明
yy	ポート 01～08。
ll	ローカル HDMI 出力ポート。
*	HDMI 出力ポート全て(デフォルト)。

操作	説明
on	ディスプレイへの HDMI 出力 ON(デフォルト)。
off	ディスプレイへの HDMI 出力 OFF。

入力可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力	ポート	操作	Enter	説明
sw	o	yy ll *	on	[Enter]	出力ポート yy、ローカル HDMI 出力ポート、または出力ポート全てに接続されたディスプレイへの HDMI 出力を ON に切替 (yy: 01~08、ll、*)
sw	o	yy ll *	off	[Enter]	出力ポート yy、ローカル HDMI 出力ポート、または出力ポート全てに接続されたディスプレイへの HDMI 出力を OFF に切替 (yy: 01~08、ll、*)

- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
  2. **ポート番号**のコマンド文字列は省略できます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

## CEC コマンド

CEC(Consumer Electronics Control)とは、リモコン一つで相互接続した HDMI デバイスの通信や応答を可能にするものです。CEC モード選択コマンドの構文は下記の通りです。

CEC コマンド+出力コマンド+ポート番号+操作 [Enter]

例えば、出力ポート 1 に対して CEC 機能を有効にするには、下記を入力します。

`cec o01 on [Enter]`

操作コマンドで使用できる値および構文は下表の通りです。

コマンド	説明
cec	CEC コマンド。

出力コマンド	説明
o	出力コマンド。

ポート番号	説明
yy	ポート 01~08。
ll	ローカル HDMI 出力ポート。
*	出力ポート全て(デフォルト)。

操作	説明
off	CEC コントロールを無効にします(デフォルト)。
on	CEC コントロールを有効にします。



利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	出力ポート	操作	Enter	説明
cec	yy	off	[Enter]	出力ポート yy (デフォルト)、ローカル HDMI 出力ポート、または出力ポート全てに対する CEC を無効にします。(yy:01~08、*)
	ll			
	*			
cec	yy	on	[Enter]	出力ポート yy、ローカル HDMI 出力ポート、または出力ポート全てに対する CEC を有効にします。(yy:01~08、*)
	ll			
	*			

- 注意:**
1. 各コマンド文字列間はスペースで区切ってください。
  2. **ポート番号**のコマンド文字列は省略できます。この場合、デフォルトの値が使用されます。

## 読込コマンド

読込コマンドは、下記のコマンドを使用して、デバイスの情報を参照することができます。

**読込コマンド + 操作 [Enter]**

操作コマンドで使用できる値および構文は下表の通りです。

コマンド	説明
read	VS1814T/VS1818T からの情報を読み込んで表示します。

操作	説明
version	VS1814T/VS1818T のファームウェアバージョンを表示します。
(空欄)	ポートと CEC の状態 (有効/無効) を表示します。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
read	version	[Enter]	ファームウェアバージョンを表示します。
read		[Enter]	ポートと CEC の状態 (有効/無効) を表示します。

## ボーレートの設定コマンド

VS1814T/VS1818T は RS-232 を使用して、ボーレートを選択することができます。ボーレートの設定コマンドの構文は下記の通りです。

ボーレートコマンド + 操作 [Enter]

例えば、ボーレートを 9600 に設定する場合、下記を入力します。

**baud 9600 [Enter]**

操作コマンドで使用できる値および構文は下表の通りです。

コマンド	説明
baud	RS-232 ボーレートを設定します。

操作	説明
9600	ボーレート 9600 を使用します。
19200	ボーレート 19200 を使用します(デフォルト)。
38400	ボーレート 38400 を使用します。
57600	ボーレート 57600 を使用します。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	操作	Enter	説明
baud	9600	[Enter]	VS1814T/VS1818T のボーレートを 9600 設定します。
baud	19200	[Enter]	VS1814T/VS1818T のボーレートを 19200 設定します(デフォルト)。
baud	38400	[Enter]	VS1814T/VS1818T のボーレートを 38400 設定します。
baud	57600	[Enter]	VS1814T/VS1818T のボーレートを 57600 設定します。

## リセットコマンド

VS1814T/VS1818T を工場出荷時のデフォルト設定値にリセットすることができます。リセットコマンドの構文は下記の通りです。

### リセットコマンド [Enter]

操作コマンドで使用できる値および構文は下表の通りです。

コマンド	説明
reset	デバイスの設定を工場出荷時のデフォルト設定値にリセットします。

利用可能なコマンドは下表の通りです。

コマンド	Enter	説明
reset	[Enter]	VS1814T/VS1818T の設定をリセットします。

---

**注意:** リセットコマンドでは、出力ポート全てへの出力が ON になるとともに、ボーレートをデフォルト値に戻します。

---

## 肯定応答

コマンドが送信されると、下記のような肯定応答メッセージがコマンドラインの最後に表示されます。

- ◆ **Command OK** - コマンドは正確で、デバイスにて機能が実行されたことを表します。
- ◆ **Command incorrect** - 無効なコマンドまたはパラメーターであることを表します。

# 付録

## 製品仕様

機能		VS1814T	VS1818T
モニター接続数	ローカル側	1	
	リモート側	4	8
HDMI 入力	コネクタ	HDMI タイプ A メス×1	
	インピーダンス	100 Ω	
	ソースデバイスとの最大距離	2m	
HDMI 出力	HDMI 出力(ローカル)	HDMI タイプ A メス×1	
	HDBaseT 出力	RJ-45×4	RJ-45×8
	インピーダンス	100 Ω	
制御	RS-232	コネクタ	DB-9 メス×1
		ボーレート/ プロトコル	ボーレート:19200、データビット:8、ストップビット:1、パリティ:無、フローコントロール:無
		ピンアサイン	Pin 2=Tx、Pin 3=Rx、Pin 5=Gnd
電源ジャック		3 極 AC 電源ソケット	
スイッチ	電源	ロッカースイッチ×1	
	EDID モード選択	8 段階スイッチ×1	
	EDID 学習モード	プッシュボタン×1	
	ファームウェアアップグレード	ピンホール型スイッチ×1	
LED	電源	グリーン×1	
	HDMI 入力	グリーン×1	
	HDMI 出力	グリーン×1	
	EDID 学習	グリーン/レッド×1	
	HDBaseT 出力	グリーン×4	グリーン×8
最大解像度(延長距離)※		カテゴリ 6a/7 ケーブル使用時: 4K※(100m)、 カテゴリ 5e/6 ケーブル使用時: 4K※(70m)	

(表は次ページに続きます。)

機能		VS1814T	VS1818T
最大延長距離(解像度)※		カテゴリ 6a/7 ケーブル使用時: 100m(4K※)、 カテゴリ 5e/6 ケーブル使用時:100m(1080p)	
EDID 設定		デフォルト/ポート 1/オート/学習	
最大データ転送速度		10.2Gbps	
最大ピクセルクロック		340MHz	
規格準拠		HDMI (3D、Deep Color、4K※)、HDCP 1.4、CEC、 HDBaseT Class A	
電源仕様		AC 100V~240V (日本仕様は PSE 対応 3P/100V 電源コードを 同梱)	
消費電力		20W	33W
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル	
重量		2.1kg	2.15kg
サイズ(W×D×H)		433×262×44mm	
同梱品		電源ケーブル×1 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	
対応製品	対応レシーバー	VE812R、VM7514	
	対応ケーブル	《HDMI ケーブル》 2L-7D02H-1 (2m)  《カテゴリ 6 STP ケーブル》 2L-NSL06xxx シリーズ  《HDMI ケーブル抜け防止ホルダー》 2X-EA12	

※ HDBaseT Class A 対応レシーバー併用時。対応する 4K 解像度は、  
3,840×2,160@30Hz(4:4:4) 、 3,840×2,160@60Hz(4:2:0) 、 4,096×2,160@30Hz(4:4:4) 、  
4,096×2,160@60Hz(4:2:0)です。